

# I 一般廃棄物処理事業の概要



## 1 総括事項

### (1) 県内の状況

三重県の令和元年度末の市町数は14市15町、一部事務組合は7事務組合、広域連合は4広域連合です。

令和元年10月1日現在の行政区域内人口は、1,812,396人、世帯数744,644世帯であり、平成30年度より人口は8,335人の減少、世帯数で6,884世帯の増加となりました。

なお、県内全域が「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条に基づく計画処理区域となっています。

区 分	県 計	市 計	町 計
面 積 (km <sup>2</sup> )	5,774.45	4,031.96	1,742.49
世帯数 (世帯)	744,644	657,333	87,311
人 口 (人)	1,812,396	1,585,756	226,640

注1：面積と世帯数は「三重県県勢要覧(令和2年刊)」記載数値、人口は一般廃棄物処理事業実態調査集計数値

### (2) 一般廃棄物処理事業経費

#### 1) 歳入及び歳出

廃棄物処理事業経費歳入の内訳は、一般財源が29,698,319千円(67.5%)、特定財源が14,319,633千円(32.5%)、合計が44,017,982千円で平成30年度より2.0%の増加となっています。

なお、割合としては、ごみ処理にかかる歳入が全体歳入額の83.2%を占めています。

一方、廃棄物処理事業経費歳出の内訳は、建設・改良費が12,469,535千円(28.6%)、処理及び維持管理費が29,161,685千円(67.0%)、その他1,897,087千円(4.4%)となっています。

建設・改良費の内訳は、ごみ処理施設の建設に係る経費は9,826,833千円、し尿処理施設の建設に係る経費は2,642,702千円となっており、建設・改良費全体は平成30年度と比較して5.6%増加しています。また、処理及び維持管理費の内訳は、ごみ処理施設に係る経費は24,800,441千円、し尿処理施設に係る経費は4,361,244千円となっており、処理及び維持管理費全体は平成30年度から0.14%減少しています。

注1：比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため合計が100%にならないこともある。

## 【歳入内訳】

(単位：千円)

区 分		ご み	し 尿	計
特定財源	国庫支出金	1,853,517	387,700	2,241,217
	都道府県支出金	66,623	6,495	73,118
	地方債	5,971,100	748,100	6,719,200
	使用料及び手数料	3,174,986	264,005	3,438,991
	その他	1,796,150	50,987	1,847,137
	小 計	12,862,376	1,457,287	14,319,633
一 般 財 源		23,776,596	5,921,723	29,698,319
合 計		36,638,972	7,379,010	44,017,982

注1：2重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

## 【歳出内訳】

(単位：千円)

区 分		ご み	し 尿	計		
建設・改良費	工事費	収集運搬施設	132,590	0	132,590	
		中間処理施設	9,427,689	1,836,804	11,264,493	
		最終処分場	248,806	745,200	994,006	
		その他	9,434	60,698	70,132	
	調査費		8,314	0	8,314	
	小 計		9,826,833	2,642,702	12,469,535	
処理及び維持管理費	人件費	一般職	1,610,748	439,732	2,050,480	
		技能職	収集運搬費	1,960,842	113,534	2,074,376
			中間処理費	1,199,057	120,867	1,319,924
			最終処分費	119,381	42,000	161,381
	処理費	収集運搬費	487,977	25,748	513,725	
		中間処理費	3,411,153	1,527,684	4,938,837	
		最終処分費	310,902	96,593	407,495	
	車両等購入費		82,949	20,172	103,121	
	委託費	収集運搬費	5,791,497	130,646	5,922,143	
		中間処理費	7,696,409	1,731,252	9,427,661	
		最終処分費	1,908,855	63,932	1,972,787	
		その他	202,644	36,673	239,317	
	調査研究費		18,027	12,411	30,438	
小 計		24,800,441	4,361,244	29,161,685		
その他		1,444,123	452,964	1,897,087		
合 計		36,071,397	7,456,910	43,528,307		

注1：2重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

(3) 廃棄物処理施設

1) ごみ処理施設

ごみ処理施設は、8市4町5事務組合等に20施設設置され、  
処理能力は2,175 t / 日です。

施設種別	焼却処理施設			ごみ燃料化 施設	合計
	全連続	准連続	バッチ		
施設数	11	0	6	3	20
処理能力 (t / 日)	1,925	0	186	64	2,175

※ 令和元年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

2) 粗大ごみ処理施設

粗大ごみ処理施設は、4市1町4事務組合等に10施設設置され、  
処理能力は232.2 t / 日です。

施設種別	破砕施設	圧縮施設	併用施設	計
施設数	7	0	3	10
処理能力 (t / 日)	182.2	0	50	232.2

※ 令和元年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

3) 資源化等を行う施設

資源化等を行う施設は、7市6町6事務組合等に26施設設置され、  
処理能力は375.09 t / 日です。

施設種別	選別	圧縮・梱包	ごみ堆肥化	その他	計
施設数	15	17	4	2	26
処理能力 (t / 日)	208.13	154.53	9.47	70.00	375.09

※ 令和元年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載

#### 4) 埋立処分地施設

埋立処分地施設は、11市6町3事務組合等に29施設設置されており、年間埋立量は70,925m<sup>3</sup>、全体容量6,749,364m<sup>3</sup>、残余容量1,007,166m<sup>3</sup>です。

施設種別	山間	平地	計
施設数	24	5	29
全体容量(m <sup>3</sup> )	6,348,229	401,135	6,749,364
年間埋立量(m <sup>3</sup> )	69,897	1,028	70,925
残余容量(m <sup>3</sup> )	949,311	57,855	1,007,166

※ 令和元年度末現在において新設(建設中)、休止、廃止の施設を除く。

※ 埋立終了施設は含む。

#### 5) し尿処理施設

し尿処理施設は、6市1町7事務組合等に17施設設置されており、処理能力は2,355kℓ/日です。

施設種別	嫌気性	好気性	標準脱窒素	高負荷脱窒素	膜分離	下水投入	計
施設数	0	0	5	10	9	0	17
処理能力(kℓ/日)	0	0	733	1,417	982	0	2,355

※ 令和元年度末現在において新設(建設中)、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載

(4) 一般廃棄物処理事業従事職員（自治体）

令和元年度末における一般廃棄物処理事業従事職員は、ごみ処理で 855 人、し尿処理で 108 人が従事しており、ごみ処理従事者が 88.8%を占めており、ごみ処理従事者のうち、収集運搬職員が 44.2%を占めています。

（単位：人）

	一般職		技能職				合計
	事務系	技術系	収集運搬	中間処理	最終処分	その他	
ごみ処理	239	61	378	133	23	21	855
し尿処理	47	16	24	14	5	2	108
合計	286	77	402	147	28	23	963

(5) 一般廃棄物処理業者関係

一般廃棄物処理の委託・許可件数は、ごみ処理の委託業として 243 件、許可業として 1,384 件あり、うち、収集運搬に伴う件数が 92.6%を占めています。

し尿処理の委託・許可件数は、委託業として 22 件、許可業として 117 件あり、ごみ処理と同様、収集運搬が大部分で 90.6%を占めています。

また、業者数としては、合計 792 業者、8,072 人の従業員が従事しています。

（単位：件）

	収集運搬		中間処理		最終処分		合計	
	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業
ごみ処理	175	1,331	52	50	16	3	243	1,384
し尿処理	13	113	1	4	8	0	22	117
合計	188	1,444	53	54	24	3	265	1,501

	ごみ（し尿兼業を含む）	し尿（ごみ兼業を含む）	業者数の実数の計
業者数（件）	748	98	792

	収集運搬 （他処理を含む）	中間処理 （他処理を含む）	最終処分 （他処理を含む）	従業員数の 実数の計
従業員数（人）	7,405	419	362	8,072

(6) 収集運搬機材

市町・一部事務組合等、委託業者及び許可業者の所有するごみの収集運搬機材の合計台数は、7,551台、積載量は21,018tです。

また、し尿の収集運搬機材の合計台数は685台、積載量は2,711klです。

	ごみ収集運搬機材(積載量: t)												
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	
		収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理		
台数	251	63	41	0	554	49	48	5	5,528	997	0	15	7,551
積載量	614	105	136	0	1,578	245	328	95	15,085	2,640	0	192	21,018

	し尿収集運搬機材(積載量: kl)												
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	
	バキューム車	その他			バキューム車	その他			バキューム車	その他			
台数	10	0	3	0	78	6	19	2	515	26	22	4	685
積載量	15	0	8	0	278	14	151	52	1,874	60	199	60	2,711



(7) 収集形態

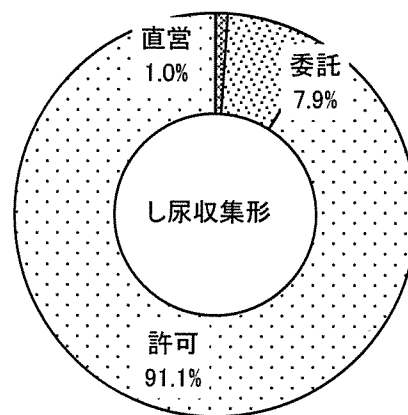
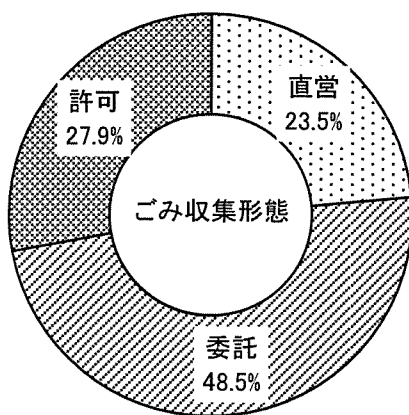
ごみの収集量は552,756 t／年（平成30年度比：0.2%減少）、し尿（浄化槽汚泥を含む）の収集量は603,744kl／年（平成30年度比：1.8%減少）です。

形態別のごみの収集量は、直営が129,973 t／年（平成30年度比：2.0%減少）、委託が268,337 t／年（平成30年度比：1.9%増加）、許可業者によるものが154,355 t／年（平成30年度比：2.1%減少）です。

形態別のし尿の収集量は、直営が6,197kl／年（平成30年度比：1.2%減少）、委託が47,396kl／年（平成30年度比：230.2%増加）、許可業者によるものが550,151kl／年（平成30年度比：7.4%減少）です。

区 分		収 集 量 ごみ：(t／年) し尿：(kl／年)	構 成 (%)	前年度比 (%)	
ご み	市町・組合によるもの	直 営	129,973	23.5	-2.0
		委 託	268,337	48.5	1.9
		小 計	398,310	72.1	0.6
	許可業者によるもの		154,355	27.9	-2.1
	計		552,665	100.0	-0.2
	災害廃棄物		91	0.0	前年度実績なし
	合 計		552,756	100.0	-0.2
し 尿	市町・組合によるもの	直 営	6,197	1.0	-1.2
		委 託	47,396	7.9	230.2
		小 計	53,593	8.9	159.9
	許可業者によるもの		550,151	91.1	-7.4
	合 計		603,744	100.0	-1.8

※ 構成比は、四捨五入により計と合わない場合があります。



(8) 処理形態

令和元年度におけるごみの処理量は、614,467 t / 年（平成 30 年度比：0.96%減少）、し尿（浄化槽汚泥を含む）の処理量は 603,744kℓ / 年（平成 30 年度比：1.8%減少）です。

ごみの形態別処理量としては、直接焼却処理量は 479,737 t / 年（平成 30 年度比：9.3%増加）、粗大ごみ処理量は 25,030 t / 年（平成 30 年度比：1.9%増加）、堆肥化処理量は 648 t / 年（平成 30 年度比：53.2%減少）、飼料化処理量は 118 t / 年（平成 30 年度比：16.8%増加）、燃料化処理量は 41,388 t / 年（平成 30 年度比：50.4%減少）、その他資源化等処理量は 33,766 t / 年（平成 30 年度比：2.1%増加）、その他処理量は 622 t / 年（平成 30 年度比：1.1%増加）、直接資源化量は 26,421 t / 年（平成 30 年度比：5.2%減少）、直接埋立量は 6,737 t / 年（平成 30 年度比：35.3%減少）です。また、自家処理量は 342 t / 年（平成 30 年度比：3.6%増加）です。

し尿の形態別処理量として、し尿処理施設での処理量は 603,744kℓ / 年（平成 30 年度比：1.8%減少）、その他処理は 0kℓ / 年（平成 30 年度比：100.0%減少）です。

区 分		処理量		構 成 (%)	前年度比 (%)
		ごみ：(t/年)	し尿：(kl/年)		
ご み	処理施設による 処 理 量※	直接焼却	479,737	78.0	9.3
		粗大ごみ処理	25,030	4.1	1.9
		堆肥化	648	0.1	-53.2
		飼料化	118	0.0	16.8
		メタン化	0	0.0	前年度実績なし
		燃料化	41,388	6.7	-50.4
		その他資源化等	33,766	5.5	2.1
		そ の 他	622	0.1	1.1
		直接資源化	26,421	4.3	-5.2
		直接埋立	6,737	1.1	-35.3
		小 計	614,467	99.9	-0.96
	自 家 処 理	342	0.1	3.6	
計	614,809	100.0	-0.95		
し 尿	処理施設による 処 理 量	し尿処理	603,744	100.00	-1.8
		ごみ堆肥化	0	0.0	前年度実績なし
		メタン化	0	0.0	前年度実績なし
		下水道投入	0	0.0	前年度実績なし
		農地還元	0	0.0	前年度実績なし
		そ の 他	0	0.0	-100.0
		小 計	603,744	100.0	-1.8
	自 家 処 理	0	0.0	前年度実績なし	
計	603,744	100.0	-1.8		

※施設での処理量を計上

## 2 ごみ処理

### (1) ごみ処理

ごみ処理の計画処理区域は県内全域となっており、計画収集区域内人口のうち計画収集人口は1,812,396人です。

ごみ総排出量は、628,303 t／年で前年度比 0.1%減少しています。このうち処理施設で614,467 t／年(97.8%)処理されており、残りの大部分の14,228 t／年(2.2%)が集団回収されています。

処理施設で処理されるもののうち、焼却施設等で処理、再資源化される量(埋立以外)は607,730 t／年で全体の98.9%を占めています。

一方、直接埋立量は6,737 t／年で前年度比35.3%の減少、集団回収量は14,228 t／年で前年度比7.1%の減少です。

自家処理量は、342 t／年であり、前年度比3.6%の増加です。

また、資源化率は23.1%となり、昨年度と比べ3.6%減少しました。

ごみの排出量の推移をみると、総排出量及び一人一日あたりの排出量ともに、ここ数年間減少傾向にあります。今後もより一層、ごみの再資源化と併せ、住民と一体となった減量化に向けた取組を推進していく必要があります。

市町別に一人一日あたりのごみの排出量を比べると、各市町間の格差は大きい状態が続いています。

ごみの発生量についても地域格差が見られることから、管内の状況を十分把握し、将来にわたり安定した適正な処理ができるよう、地域特性に十分配慮した一般廃棄物処理計画の策定や3Rの推進について一層努めていくことが必要です。

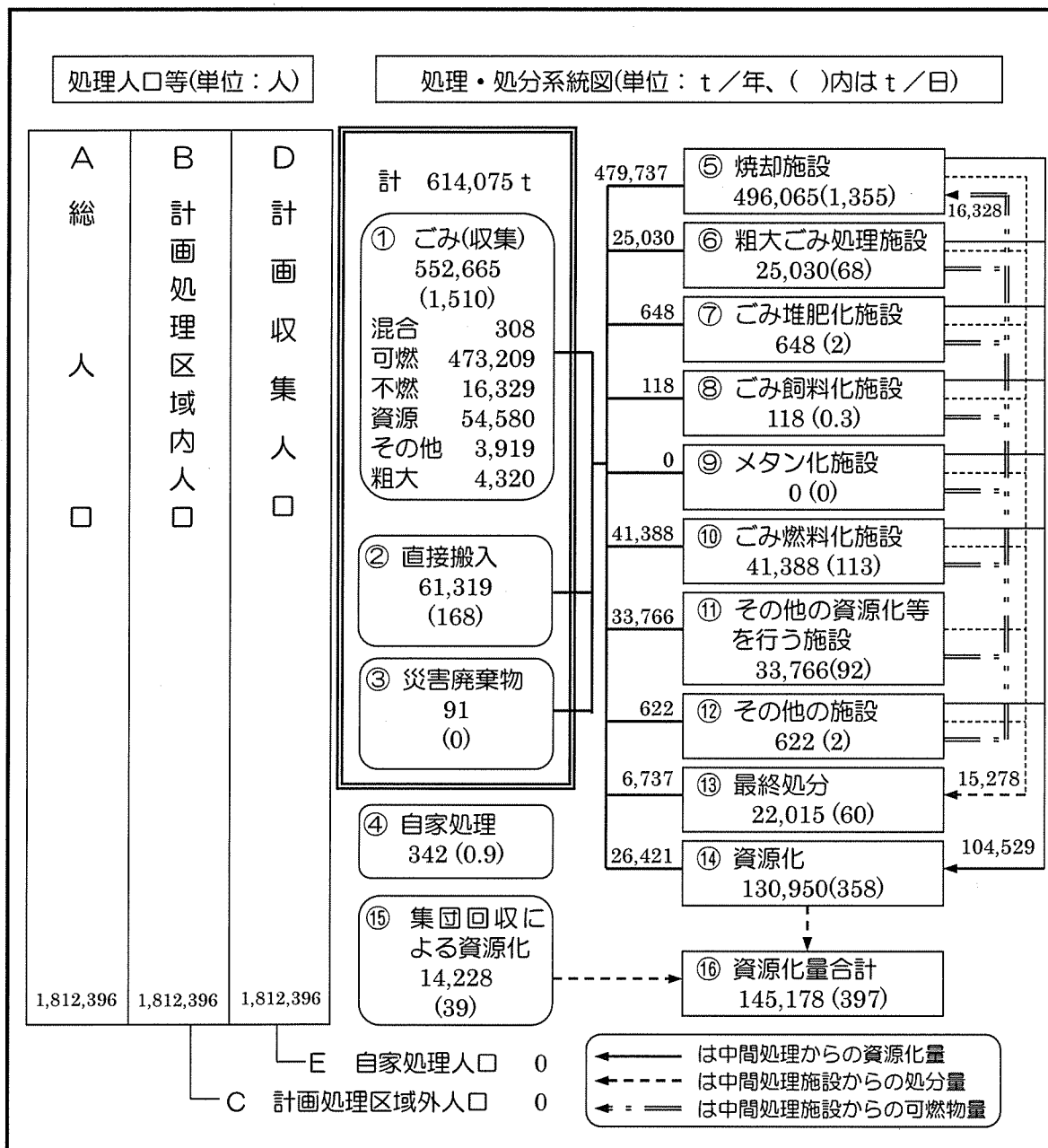
ごみ処理全体の維持管理費等の経費は、24,800,441千円であり、1 tあたりの処理に要する経費は40,361円(24,800,441千円÷614,467 t)となり、平成30年度と比較して210円／t高くなりました。

## (2) ごみ処理の状況

項目		数値	単位	
計画収集人口等	計画収集区域内面積		5774.45	km <sup>2</sup>
	計画収集区域内人口		1,812,396	人
	計画収集人口		1,812,396	人
	自家処理人口		0	人
収集形態別内訳	収集ごみ	直 営	129,973	t/年
		委 託	268,337	t/年
		小 計	398,310	t/年
	許可業者によるもの		154,355	t/年
	計		552,665	t/年
	直接搬入ごみ		61,319	t/年
	災害廃棄物		91	t/年
	合 計		614,075	t/年
処理内訳	処理形態別内訳	直接焼却	479,737	t/年
		粗大ごみ処理	25,030	t/年
		堆肥化	648	t/年
		飼料化	118	t/年
		メタン化	0	t/年
		燃料化	41,388	t/年
		その他資源化等	33,766	t/年
		そ の 他	622	t/年
		直接資源化	26,421	t/年
		直接埋立	6,737	t/年
	小 計	614,467	t/年	
	集団回収量		14,228	t/年
	総排出量		628,303	t/年
	自家処理量		342	t/年
総排出量(参考)		614,417	t/年	

※「総排出量(参考)」=「収集ごみ量」+「直接搬入ごみ量」+「自家処理量」+「災害廃棄物」

(3) ごみ処理のフロー図



【三重県】

- ・計画収集区域率  $B/A \times 100 = 100\%$
- ・計画収集率  $D/A \times 100 = 100\%$
- ・計画収集量 ①=552,665 t/年
- ・計画処理量 ①+②+③=614,075 t/年
- ・総排出量 ①+②+③+⑮=628,303 t/年
- ・1人1日あたりのごみ排出量  $(①+②+③+⑮) \times 10^6 / (B \times 366) = 947 \text{ g/人} \cdot \text{日}$
- ・資源化率  $⑯ / (①+②+③+⑮) \times 100 = 23.1\%$
- ・再利用率  $(⑯ - (⑮+⑩からの資源化量+⑤からの資源化量)) / (①+②+③) \times 100 = 11.7\%$
- ・減量処理率  $(①+②+③-⑬) / (①+②+③) \times 100 = 96.4\%$

【全国】※災害廃棄物を除く。(出典：日本の廃棄物処理 平成30年度版)

- ・総排出量 4,272 万 t/年
- ・計画処理量 4,067 万 t/年
- ・1人1日あたりのごみ排出量 918 g/人・日
- ・資源化率 19.9%
- ・減量処理率 98.9%

(4) ごみ処理形態の推移

項目 / 年度	単位	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
総人口	人	1,812,396	1,820,731	1,829,745	1,834,621	1,836,741
計画処理区域内人口	人	1,812,396	1,820,731	1,829,745	1,834,621	1,836,741
計画収集量	t/年	552,665	553,688	556,704	556,872	562,951
直接搬入量	t/年	61,319	60,052	56,297	61,784	61,187
集団回収量	t/年	14,228	14,875	16,771	17,737	20,618
災害廃棄物	t/年	91	0	1,449	-	22
ごみ総排出量	t/年	628,303	629,059	631,221	636,393	644,778
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	947	947	945	950	959
自家処理量	t/年	342	330	335	334	329
ごみ総排出量(参考)	t/年	614,417	614,070	614,785	618,990	624,489
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	926	924	921	924	929
直接焼却量	t/年	479,737	438,992	435,551	439,336	424,243
直接資源化量	t/年	26,421	27,861	28,574	30,466	32,890
直接埋立量	t/年	6,737	10,409	7,572	6,443	17,756
堆肥化量	t/年	648	1,385	1,309	1,289	1,350
その他中間処理量	t/年	100,924	141,178	141,342	140,462	147,920
計	t/年	614,467	619,825	614,348	617,996	624,159
最終処分量	t/年	22,015	24,551	21,807	20,963	36,049
生活系ごみ	t/年	441,152	439,409	435,267	439,321	445,144
事業系ごみ	t/年	172,832	174,331	177,734	179,335	178,994
資源化率	%	23.1	26.7	27.3	27.4	28.5
再利用率	%	11.7	12.3	12.4	13.5	14.5
項目 / 年度	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
総人口	人	1,827,595	1,833,056	1,851,625	1,848,107	1,854,742
計画処理区域内人口	人	1,827,595	1,833,056	1,851,625	1,848,107	1,854,742
計画収集量	t/年	571,059	568,588	572,015	570,442	567,271
直接搬入量	t/年	56,798	65,356	62,857	58,512	61,454
集団回収量	t/年	23,044	25,424	24,630	25,188	25,193
災害廃棄物	t/年	-	63	2,942	17,615	-
ごみ総排出量	t/年	650,901	659,431	662,444	671,757	653,918
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	976	986	980	993	966
自家処理量	t/年	329	376	406	384	462
ごみ総排出量(参考)	t/年	628,186	634,383	638,220	646,953	629,187
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	942	948	976	967	929
直接焼却量	t/年	421,237	412,954	414,512	408,136	404,918
直接資源化量	t/年	35,755	40,827	47,889	46,488	44,941
直接埋立量	t/年	19,429	27,242	20,076	24,332	32,244
堆肥化量	t/年	1,391	1,438	1,488	2,178	1,854
その他中間処理量	t/年	150,045	151,546	153,849	165,435	144,768
計	t/年	627,857	634,007	637,814	646,569	628,725
最終処分量	t/年	37,776	50,042	41,958	50,893	55,309
生活系ごみ	t/年	452,644	452,506	456,747	455,689	459,720
事業系ごみ	t/年	175,213	181,438	178,125	173,265	169,005
資源化率	%	29.7	30.4	30.5	31.1	30.6
再利用率	%	15.1	15.5	15.9	16.2	13

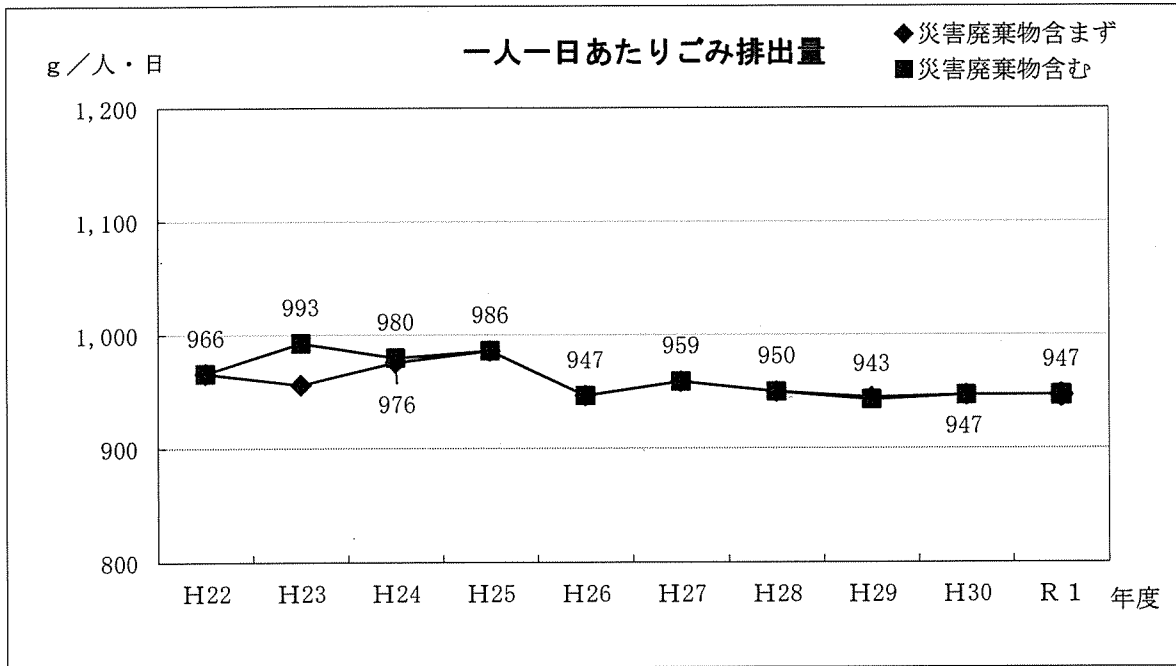
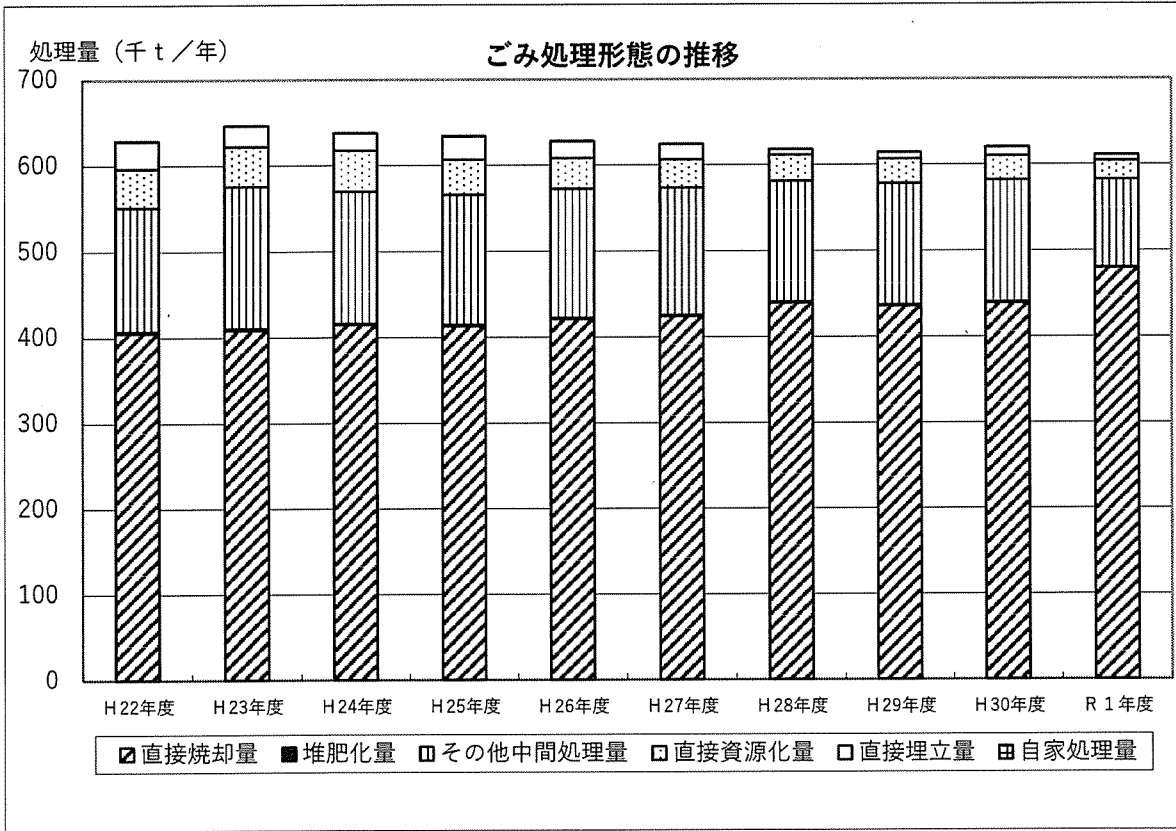
※ 「その他中間処理量」とは、中間処理施設(「焼却施設」、「ごみ堆肥化施設」を除く。)による処理量です。

※ 「生活系ごみ」には、「集団回収量」は含んでいません。

※ 平成23年度実績より、災害廃棄物が別集計となったため、項目を追加しています。

災害廃棄物は、生活系・事業系の区分はありません。

※ 「総排出量(参考)」=「収集ごみ量」+「直接搬入ごみ量」+「自家処理量」+「災害廃棄物」



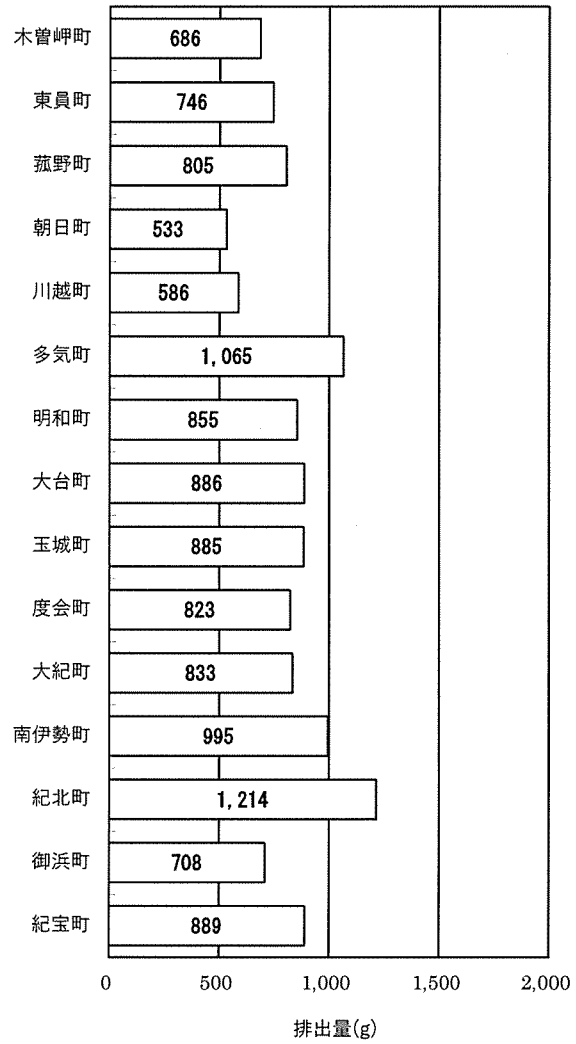
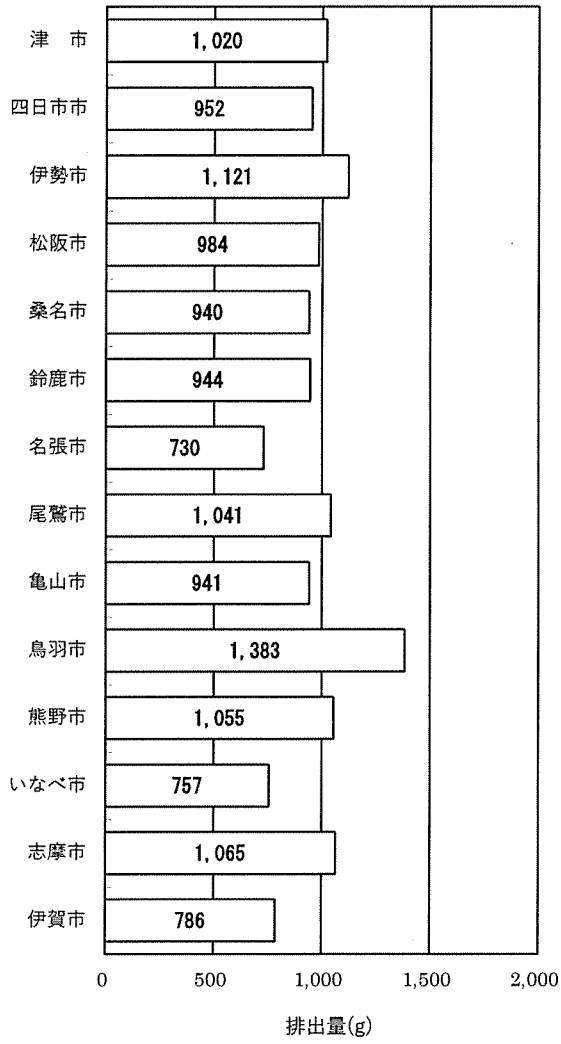


## (5) 1人1日あたりのごみ排出量

(g/人・日)

市町名	令和元年度 実績	平成30年度 実績	平成29年度 実績	平成28年度 実績
津市	1,020	1,007	1,008	1,032
四日市市	952	948	948	969
伊勢市	1,121	1,135	1,145	1,144
松阪市	984	974	967	959
桑名市	940	932	924	938
鈴鹿市	944	939	939	946
名張市	730	726	734	744
尾鷲市	1,041	1,052	1,022	1,037
亀山市	941	999	1,015	1,007
鳥羽市	1,383	1,427	1,368	1,382
熊野市	1,055	1,028	1,035	1,024
いなべ市	757	755	756	770
志摩市	1,065	1,045	1,024	1,037
伊賀市	786	743	783	789
木曽岬町	686	636	628	618
東員町	746	741	759	753
菰野町	805	793	795	807
朝日町	533	528	543	540
川越町	586	591	573	563
多気町	1,065	1,652	1,170	873
明和町	855	887	861	880
大台町	886	921	888	923
玉城町	885	853	1,088	840
度会町	823	817	785	771
大紀町	833	853	853	848
南伊勢町	995	991	985	937
紀北町	1,214	1,241	1,202	1,162
御浜町	708	706	683	685
紀宝町	889	801	791	793
県平均	947	947	945	950

【1人1日あたりのごみ排出量】



### 3 し尿処理

#### (1) し尿処理

し尿処理の計画処理区域は県内全域になっており、計画処理区域内人口は1,812,396人であり、そのうち水洗化人口は、1,711,468人(94.4%)、非水洗化人口は100,928人(5.6%)です。

水洗化人口の内訳は、公共下水道人口959,896人(56.1%)、浄化槽人口748,183人(43.7%)、コミュニティ・プラント人口3,389人(0.2%)です。また、非水洗化人口のうち計画収集人口は100,928人(100.0%)、自家処理人口は0人(0.0%)です。

平成30年度と比べると、水洗化人口では下水道人口が7,024人減少、コミュニティ・プラント人口が324人増加、浄化槽人口が9,229人増加しています。

なお、非水洗化人口のうち、計画収集人口は、10,864人減少しています。

し尿の計画収集量は、し尿が96,960kℓ/年(16.1%)、浄化槽汚泥が506,784kℓ/年(83.9%)で収集総量は603,744kℓ/年です。また、自家処理量は、0kℓ/年です。

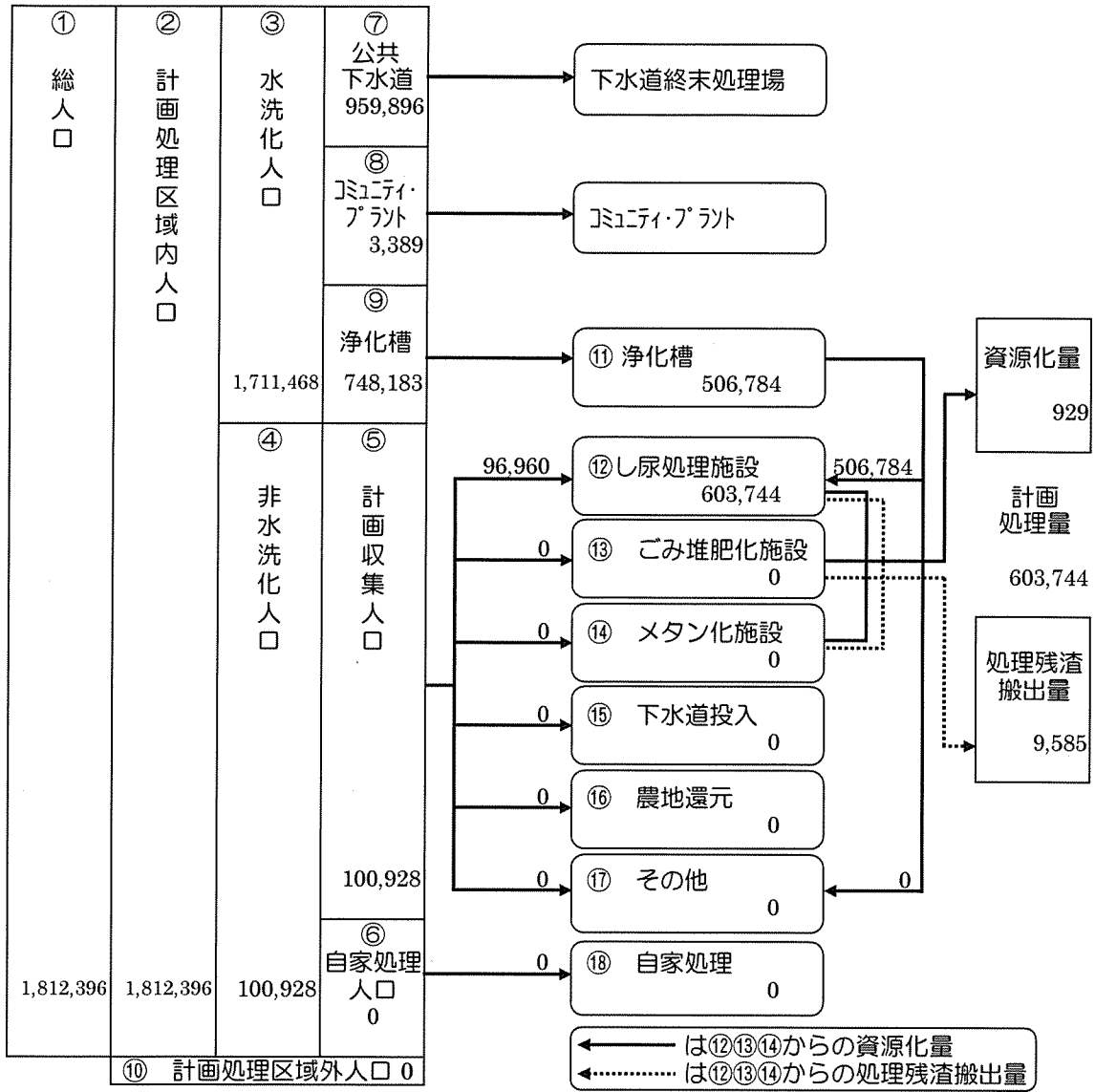
平成30年度と比べると、計画収集総量は11,275kℓ/年減少し、自家処理量は増減がありませんでした。

し尿処理全体の維持管理費等の経費は、4,361,244千円であり、1kℓあたりの処理に要する経費は7,224円(4,361,244千円÷603,744kℓ)となり、平成30年度と比較して242円/kℓ高くなりました。

## (2) し尿処理の状況

項目		数値	単位	
計画 収集 人口 等	計画収集区域内面積		5,774.45 Km <sup>2</sup>	
	計画収集区域内人口		1,812,396 人	
	水洗化 人口	公共下水道人口		959,896 人
		コミュニティ・プラント人口		3,389 人
		浄化槽人口		748,183 人
		内 訳	単 独 浄 化 槽 人 口	229,266 人
			合 併 浄 化 槽 人 口	518,917 人
		水洗化人口 計		1,711,468 人
	非水洗化 人口	計画収集人口		100,928 人
		自家処理人口		0 人
非水洗化人口 計		100,928 人		
収集 形態 別 内 訳	市町・組合によるもの	直 営	6,197 kℓ / 年	
		委 託	47,396 kℓ / 年	
		小 計	53,593 kℓ / 年	
	許可業者によるもの		550,151 kℓ / 年	
	計		603,744 kℓ / 年	
種 類 別 内 訳	し尿		96,960 kℓ / 年	
	浄化槽汚泥		506,784 kℓ / 年	
	計		603,744 kℓ / 年	
処 理 内 訳	処理形態別内訳	し尿処理施設	603,744 kℓ / 年	
		ごみ堆肥化施設	0 kℓ / 年	
		メタン化施設	0 kℓ / 年	
		下水道投入	0 kℓ / 年	
		農地還元	0 kℓ / 年	
		そ の 他	0 kℓ / 年	
		小 計	603,744 kℓ / 年	
	自 家 処 理 量		0 kℓ / 年	
	総 排 出 量		603,744 kℓ / 年	

(3) し尿処理のフロー図



・非水洗化率 (④/①) = 5.6%

総人口における計画収集率 (⑤/①) = 5.6%

非水洗化人口における計画収集率 (⑤/④) = 100.0%

総人口における自家処理率 (⑥/①) = 0.0%

非水洗化人口における自家処理率 (⑥/④) = 0.0%

(4) し尿処理の内訳

処理内訳

(収集し尿処理内訳比率)

し尿処理施設 603,744 kℓ / 年 100.0%
---------------------------------------

施設数と処理能力

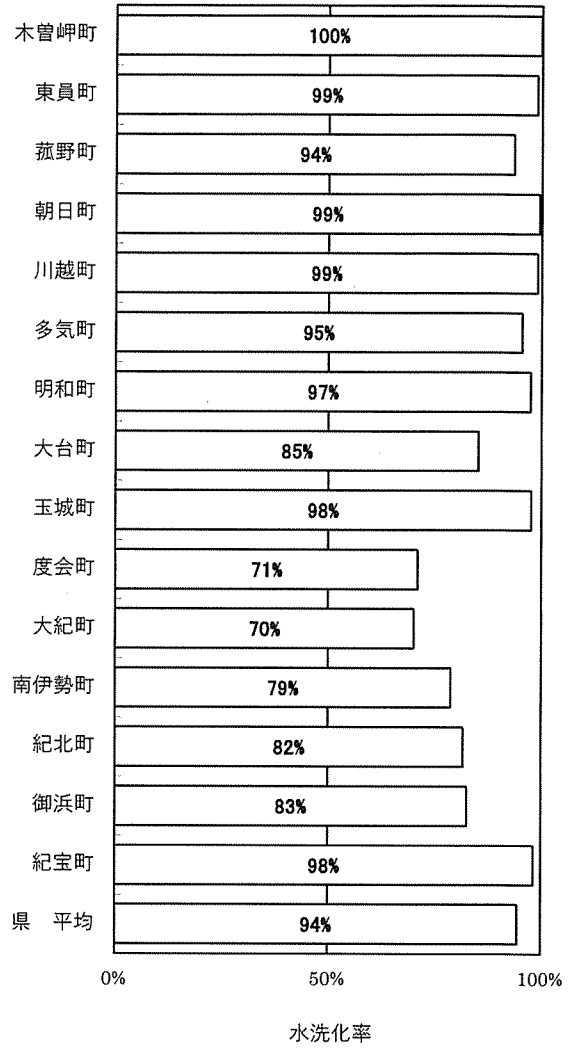
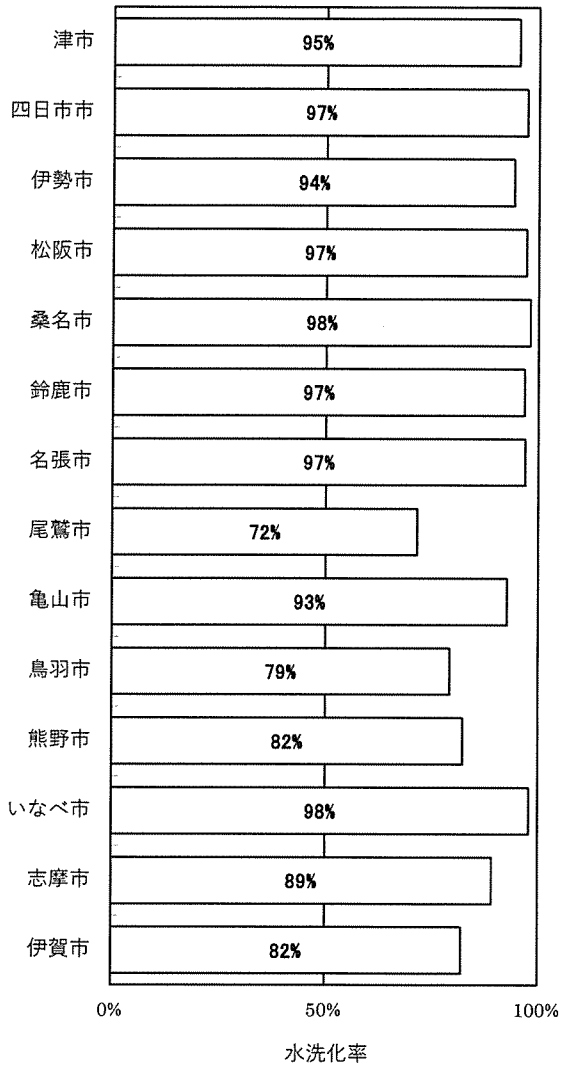
施設種別	施設数	公称能力 (kℓ / 日)
嫌気性処理方式	0	0
好気性処理方式	0	0
標準脱窒素方式	5	733
高負荷脱窒素方式	10	1,417
膜分離方式	9	982
下水投入方式	0	0
計	17	2,355

※ 令和元年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

- ・ 計画処理量（含む浄化槽汚泥）  $(12) + (13) + (14) + (15) + (16) + (17) = 603,744 \text{ kℓ / 年} \dots\dots a$
- ・ 総処理量（計画処理量＋自家処理）  $(12) + (13) + (14) + (15) + (16) + (17) + (18) = 603,744 \text{ kℓ / 年} \dots\dots b$
- ・ し尿処理施設及び下水道投入による処理率  
 $(12) + (15) / a = 100.00\%$
- ・ 1人1日あたりのし尿計画処理量  
 $((a - (11)) \times 10^3) / ((5) \times 366) = 2.62 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿排出量  
 $((b - (11)) \times 10^3) / ((4) \times 366) = 2.62 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥計画処理量  
 $((11) \times 10^3) / ((9) \times 366) = 1.85 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥排出量  
 $((11) \times 10^3) / ((9) \times 366) = 1.85 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿及び浄化槽汚泥排出量  
 $(b \times 10^3) / (((4) + (9)) \times 366) = 1.94 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$

(5) 水洗化率



## (6) し尿処理形態の推移

項目/年度	単位	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
計画処理区域内人口	人	1,812,396	1,820,731	1,829,745	1,834,621	1,836,741
水洗化人口	人	1,711,468	1,708,939	1,728,767	1,721,013	1,716,778
公共下水道	人	959,896	966,920	940,787	892,401	879,245
コミュニティ・プラント	人	3,389	3,065	3,369	3,311	3,332
浄化槽	人	748,183	738,954	784,611	825,301	834,201
非水洗化人口	人	100,928	111,792	100,978	113,608	119,963
し尿処理施設	㎕/年	603,744	614,904	613,535	620,050	614,271
下水道投入	㎕/年	0	0	0	0	9,142
海洋投入	㎕/年	-	-	-	-	-
その他	㎕/年	0	115	154	145	162
計(a)	㎕/年	603,744	615,019	613,689	620,195	623,575
自家処理量(b)	㎕/年	0	0	0	0	0
計画処理区域内の総処理量(a)+(b)	㎕/年	603,744	615,019	613,689	620,195	623,575
項目/年度	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
計画処理区域内人口	人	1,827,595	1,833,056	1,851,625	1,848,107	1,854,742
水洗化人口	人	1,698,196	1,694,666	1,677,922	1,654,116	1,629,078
公共下水道	人	835,503	831,930	819,415	791,624	763,533
コミュニティ・プラント	人	7,166	3,340	3,390	3,426	3,497
浄化槽	人	855,527	859,396	855,117	859,066	862,048
非水洗化人口	人	129,399	138,390	173,703	193,991	225,664
し尿処理施設	㎕/年	624,576	629,269	639,235	632,239	645,189
下水道投入	㎕/年	9,413	9,552	10,085	9,891	9,853
海洋投入	㎕/年	-	-	-	-	-
その他	㎕/年	163	163	137	70	53
計(a)	㎕/年	634,152	638,984	649,457	642,200	655,095
自家処理量(b)	㎕/年	0	3	3	6	18
計画処理区域内の総処理量(a)+(b)	㎕/年	634,152	638,987	649,460	642,206	655,113



